

男女共同参画セミナー

「イクメンのススメ～育休取得パパの体験談～」が開かれました

6月30日、NPO法人ファザーリング・ジャパンの会員で、夫婦共働きで8歳と2歳のお子さんを育てる堀川佐渡氏の講演に、静岡キャンパスでは103名、テレビ会議システムでつないだ浜松キャンパスでは23名が、熱心に耳を傾けました。

第二子誕生後、妻と入れ替わりで3.5ヶ月の育休を取ったという堀川氏は、それまでは育児に十分協力的なつもりではあったものの「育児の副担当」意識がなかなか抜けなかったそうです。育休は、仕事より忙しい毎日ながら「宝物のような時間」だったと語りました。人生における優先順位付けができ、妻や子どもとの絆が深まり、育児の主担当となることで身に付いたスキルは「表現〔演技〕力」「ダンドリ力」「トラブル予測力」「リカバリー力」「楽道家力」と人生に使えるものばかりで、職場復帰後は働き方を変えたそうです。「育児の主担当」として意識をリセットし、ワークライフバランス推進組織へ希望して異動、日々定時退社で保育園お迎えという毎日とのこと。男性の育休取得は、自分、家族、企業、地域、社会のそれぞれにいくつものメリットがあると指摘した堀川氏は、政府や自分の所属する企業とNPO法人のイクメン推進の取り組みを紹介し、ワークライフバランス実現のためには「楽しく」がキーワードと語り、「父親であることを楽しもう」「ママも笑って子育てをしよう」と締めくくりました。

参加者には教職員のほか学部生22名、院生9名も含まれ、ユーモアにあふれた講演に、アンケートには「楽しく有意義でした」「イクメンになりたいと思いました」「自分の人生を考える上で・・・色々な視点を入れて深めることの大切さを感じました」「一人ひとりの小さな一歩が社会を変えていくのだなぁと思いました」等々の記述が並び、大きな反響が感じられました。

平成22年6月30日(水) 14:25-15:55

静岡大学 静岡キャンパス 共通教育A棟 301

* 浜松キャンパス 総合研究棟 10階会議室(テレビ会議形式)



静岡大学男女共同参画推進室

2010年7月8日作成